稲作ワンポイントアドバイス（No.6）

令和７年７月１１日
JA山口県長門統括本部
長門農林水産事務所農業部

1　生育等の状況（水稲定点調査結果より）

※平年値は過去５年の平均

	移植日	草丈	１株茎数	葉齢	葉色
コシヒカリ	5/9 （平年5/9）	長い 85cm（平年77cm）	多い 27.2本（平年22.5本）	平年並 12.4L（平年12.1L）	平年並 4.2（平年4.1）
ひとめぼれ	5/19 （平年5/18）	やや短い 67cm（平年74cm）	やや多い 26.2本（平年23.6本）	平年並 12.2L（平年12.0L）	やや濃い 4.7（平年4.2）
きぬむすめ	5/28 （平年5/27）	平年並 62cm（平年66cm）	多い 31.0本（平年22.6本）	平年並 11.3L（平年11.2L）	平年並 4.5（平年4.5）
あきだわら	6/1 （平年5/31）	平年並 62cm（平年64cm）	多い 25.8本（平年19.6本）	やや早い 11.5L（平年10.4L）	平年並 4.4（平年4.6）

●7/7に斑点米カメムシの注意報が発令されました。斑点米カメムシ類が畦畔に多く発生しており、イネカメムシは長門の全域で確認されています。

●一部のほ場で葉いもちが発生してます。

●出穂期（ほ場のうち50%で穂が見えたとき）の予想

品種	移植期	幼穂長	調査ほ場の出穂期予想
コシヒカリ	5月上旬	2cm～10cm	7/22～24
	5月中旬	2mm～1.8cm	7/25～27
ひとめぼれ	5月中旬	6mm	7/29～8/1
	5月下旬	1mm以下	8/1～3

※調査ほではありませんが、5月上旬植えひとめぼれが穂ばらみ期です。
出穂が平年より早まるので注意をしてください（7/17～20出穂か）

【参考】幼穂と出穂前日数の関係　※今年は気温が高いので表より数日早まります

幼穂の長さ	出穂前の日数	外形
肉眼で見えるが1mm以下	26日前	
1～2mm	24日前	止葉の下の葉抽出
5mm	20日前	
1cm	18日前	止葉抽出
4～6cm	13日前	
20cm	6日前	（穂ばらみ始め）

2　今後の管理のポイント

（１）コシヒカリ・ひとめぼれ

ア　水管理

・カドミウム吸収抑制のため、湛水管理を行いましょう。



・用水不足が懸念される場合は穂ばらみ期～穂揃期を中心に、重点的に潅水を行いましょう

イ　肥培管理

〇緩効性肥料（元肥一発肥料）の場合

・極端に葉色が淡い場合（葉色3.5以下）は、出穂前１３日頃（遅くとも出穂前１０日まで）に、窒素量で１～1.5kg/10a程度、追肥を行いましょう。

〇分施の場合及び穂肥一発肥料（穂づくり640）の場合

・穂肥１回目が早すぎると倒伏の危険性があり、２回目が遅すぎると（出穂前１０日以降）食味低下のおそれがありますので、適期施用しましょう。

品種	分施（穂肥１回目）／穂づくり	分施（穂肥２回目）
コシヒカリ	出穂前１８日頃（幼穂１ｃｍ）	出穂前１３日頃
ひとめぼれ	出穂前２０日頃（幼穂５mm）	出穂前１３日頃

（２）きぬむすめ・あきだわら

ア　水管理（地域の用水の状況や水利のルールに基づいて管理を行って下さい）

・茎数が18本／株程度になったら速やかに中干しを行いましょう。
水不足で用水が得にくい場合は、可能な限り湿潤状態を保つよう管理しましょう。

・中干し後に急に湛水すると根を傷めるため「走り水」を行い、その後は「浅水」と「自然落水（足跡の水がなくなる程度）」を繰り返しましょう。

・用水が不足する可能性がある場合は、作溝（溝切）など、円滑な給水ができるように努めましょう。

（３）病害虫

病害虫発生予報（７月１日　山口県病害虫防除所発表）

葉いもち	平年並	トビイロウンカ	平年並
紋枯病	やや多	コブノメイガ	平年並
		斑点米カメムシ類	多　注意報

【葉いもち】

・葉いもちの病斑を見つけたら速やかに防除してください。

・出穂前後の基幹防除を必ず行いましょう。



葉いもち病斑

【紋枯病】

・紋枯病の常発田では出穂前25日～14日に防除しましょう。

【トビイロウンカ】

・出穂前の基幹防除ではウンカ類に登録がある農薬を使用してください。

【斑点米カメムシ類】

- 出穂２週間前までに畦草を刈り終えましょう。
- 液剤・粉剤での防除時期は穂揃期（8割出穂した頃）です。防除後にも斑点米カメムシが見られる場合は、穂揃期の７日後に追加防除をしてください。
  粒剤の場合は、液剤より３～４日早く散布しましょう。
- 出穂期（５割出穂した頃）にイネカメムシに集中的に吸われると、不稔穂が発生し、収量に影響します。イネカメムシが見つかったほ場は防除時期を早め、出穂期と出穂７日後に防除してください。

◇斑点米カメムシ類写真


アカスジカスミカメ


ホソハリカメムシ


クモヘリカメムシ


イネカメムシ

（４）農作業安全

- 長門市消防本部管内では、7/10までの熱中症の救急搬送が19件となっています。過去には農作業中の熱中症で死亡した事例もあります。
  暑さを避ける行動と、こまめに休憩と水分補給を行い、熱中症予防に努めましょう。



長門の水稲の病害虫発生状況、生育状況等をLINEにより発信しています。